ネットワークコンビネーションカメラ（屋外ドーム型）

# 型名 VN-V686WPB VN-V686WPC

はじめにお読みください

LST0907-001B

お買いあげありがとうございます。
ご使用の前にこの「はじめにお読みください」と「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買いあげの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

**■ 本書ではカメラの基本的な使い方を説明します。**

本機の詳しい使い方は、付属の CD-ROM 内の「取扱説明書 ( 設置編 )」(pdf）と、「取扱説明書 ( 設定編 )」(pdf）をご覧ください。
最新の情報については、付属の CD-ROM 内 の "README" ファイルをご覧ください。
- 付属の CD-ROM には、「取扱説明書 ( 設置編 )」(pdf)、「取扱説明書 ( 設定編 )」(pdf)、「API ガイド」(pdf)、「検索ツール」が含まれています。

**■ 本書記載内容について**


- 本書は VN-V686WPB のイラストで記述しています。
- PoE 電源は VN-V686WPB のみ対応しています。

**この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。**

添付物・付属品をご確認ください。
- はじめにお読みください
- 安全上のご注意
- 保証書
- ご相談窓口案内
- CD-ROM
- RJ-45 変換コネクター
- シリカゲル (3 個)

## 動作環境

### 推奨するパソコンの仕様

OS ：Windows XP (Professional または Home Edition)(SP2)
：Windows Vista Business (SP1)
CPU ：Pentium4 2GHz 以上
メモリー容量 ：1 GB 以上
ハードディスク空容量 ：512 MB 以上の空き容量
ディスプレイおよびビデオカード
：1024×768 ピクセル以上、True Color（24 ビットまたは 32 ビット）
VRAM 8 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
Web ブラウザ ：Internet Explorer
XP ：Version 6.0
Vista ：Version 7.0

### LAN 環境

- IEEE802.3 準拠のスイッチングハブなどで相互に接続された 10BASE-T/100BASE-TX ネットワーク
- PoE を利用する場合は、IEEE802.3af 準拠のスイッチングハブなど
- マルチキャストを利用する場合は、IGMPv2 準拠のネットワーク

メモ：
- 統合ビューワーで MPEG4 を利用するには、オープンソースのコーデック ffdshow をパソコンにインストールしてください。ffdshow はインターネットから入手できます。お客様によるオープンソースソフトウェアのご使用については、当社は一切の責任を負いません。

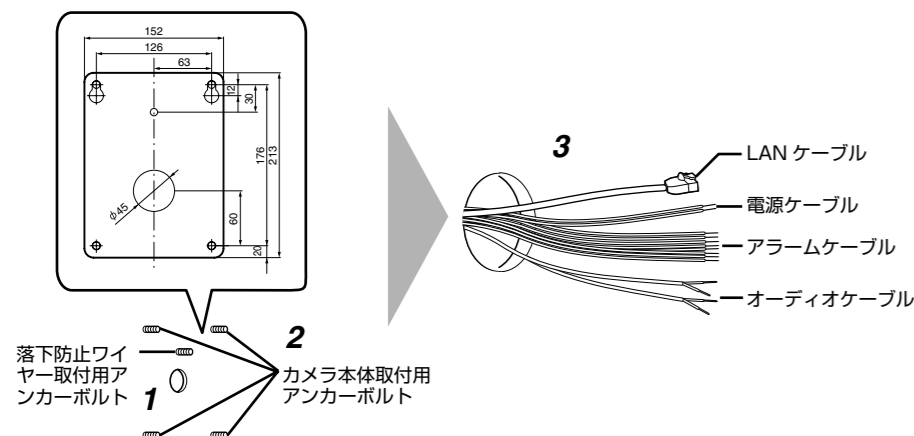
## カメラの取り付け

### 壁面の準備

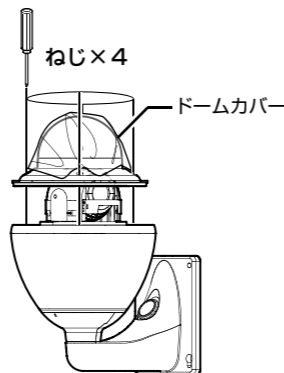
カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。

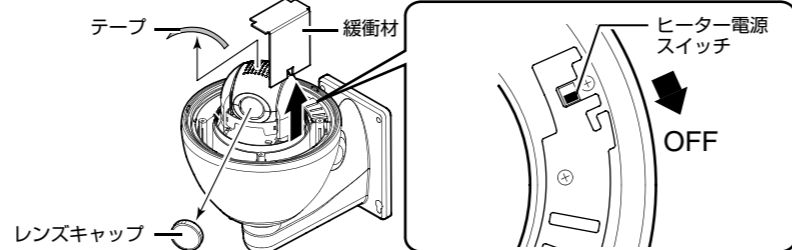
**1** 壁に穴をあける（ø45mm）

**2** アンカーボルトを立てる
①カメラ本体取付用 4 本（M8x35mm 以上）
②落下防止ワイヤー取付用

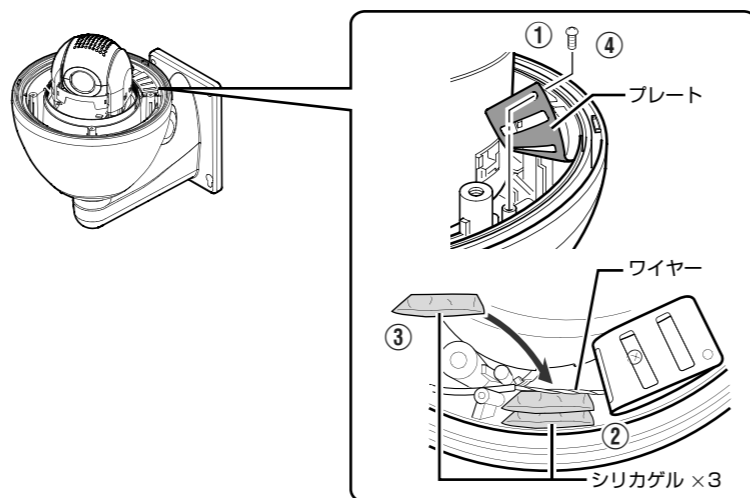
**3** ケーブル類を壁の穴から出す

### カメラの準備

**1** ドームカバーをはずす

ご注意：
- レンズを傷つけないようにはずしてください。

**2** 緩衝材とレンズキャップをはずし、輸送用のテープをはがす（緩衝材は VN-V686WPB のみ）

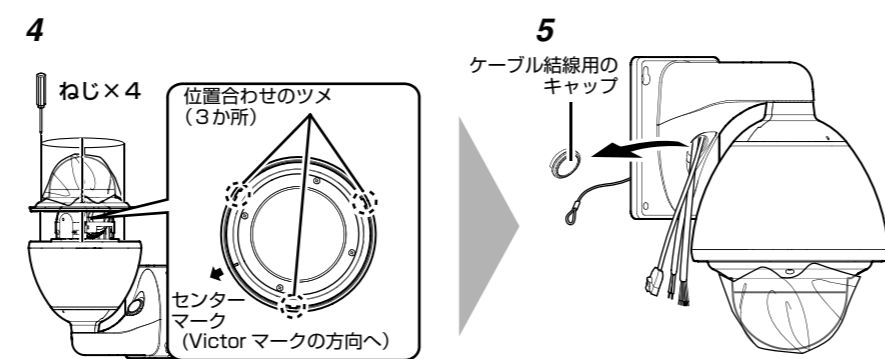
※ ヒーターが不要な場合は、スイッチを切ってください。

**3** シリカゲルを入れる

①ねじをはずし、プレートを持ちあげる
②添付のシリカゲル 2 個を図の位置に入れる
③添付のシリカゲル残りの 1 個を図の位置に入れる
④① ではずしたねじをとめる

ご注意：
- 雨の日や、湿度の高い環境での設置工事やメンテナンスなどでドームカバーを開閉すると、その後の気温変化でドームカバーがくもることがあります。シリカゲルは、必ず入れてください。
- 修理・メンテナンスなどでドームカバーをあけたときは、シリカゲルを交換してください。
- シリカゲルは、奥まで押し込まないでください。
- シリカゲルは、プレートからはみ出さないように入れてください。
- ワイヤーに力を加えないでください。

**4** ドームカバーを取り付ける

ドームカバーのツメ（3 か所）とセンターマークをめやすに取り付けます。

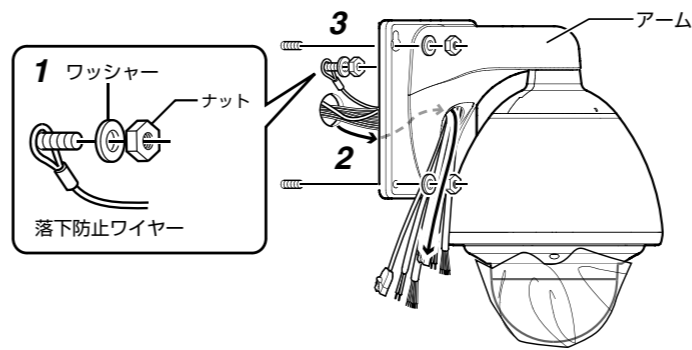
ご注意：
- レンズを傷つけないように取り付けてください。

**5** ケーブル結線用のキャップをはずし、穴からケーブル類を出す

### カメラ本体の取り付け

**1** アンカーボルトに落下防止ワイヤーを取り付ける

ナットとワッシャーでしっかり固定します。（取付後、防錆処理）

**2** 壁から出したケーブル類をケーブル結線用の穴から出す

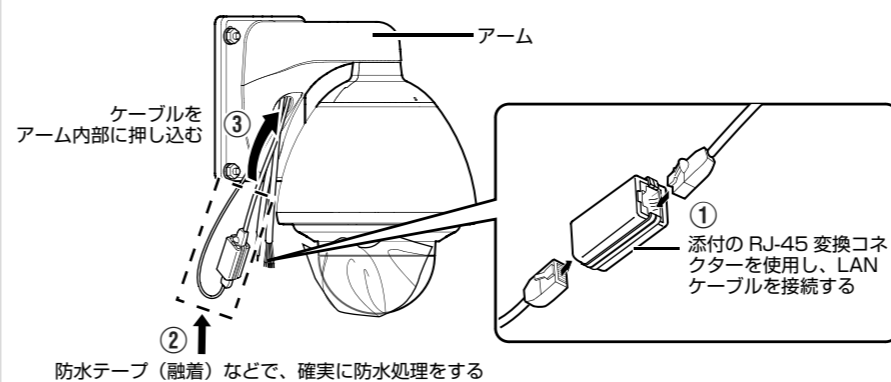
**3** カメラ本体を壁に取り付ける
- ナットとワッシャーでしっかり固定します。（取付後、防錆処理）
- カメラの取りはずしは逆の手順で行います。

ご注意：
- 落下に十分注意してください。
- 取付作業時はアームをつかんでください。
- ナットとワッシャーは取付後、防錆処理をしてください。

### ケーブル接続

**1** LAN ケーブルを接続する
- LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続します。
  ハブに接続 ：ストレートケーブルを使用
  パソコンに接続 ：クロスケーブルを使用
- PoE 電源を利用する場合は、PoE 対応機器を接続し、LAN ケーブルから電源を供給します。（VN-V686WPB のみ）

ご注意：
- PoE 電源で使用する場合はヒーターが動作しません。-10 °C 以下の環境下でご利用の場合は、AC 24 V 電源でご使用ください。

**使用 LAN ケーブル**
- STP( シールドケーブル推奨 )
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリー 5 以上

**動作確認済みの PoE 対応機器**
- BUFFALO 社
  BIJ-POE-1P
- PLANEX 社
  SW-0008FP
- Allied Telesis 社
  CentreCOM FS909M-PS

**2** アラームケーブルを接続する

アラーム信号ケーブルで、センサー、ブザーなどの外部機器に接続します。

**使用アラームケーブル**
- 長さ 50 m 以下
- UL1007 もしくは UL1015 相当品
- AWG#22 ～ AWG#18 相当品

**3** オーディオケーブルを接続する（VN-V686WPC のみ）

**4** 電源ケーブルを接続する

本機に電源を供給するには、AC 24 V 電源と接続する方法と、PoE を利用する方法があります。（PoE 電源は VN-V686WPB のみ）

ご注意：
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 工場出荷時点ではカメラの IP アドレスはすべて 192.168.0.2 となっています。そのため、同一 LAN 環境下で同時に複数台のカメラ電源を投入すると、IP アドレスの重複がおこり、正しくアクセスできなくなります。必ず 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。

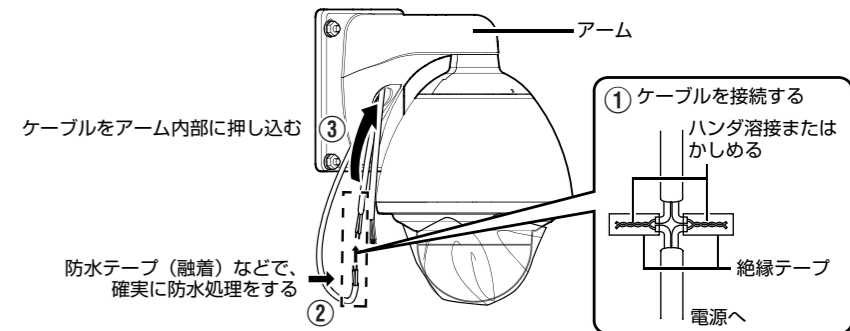
■ 2芯 VVF ケーブルを使用した場合の接続距離（参考値）

| 導体直径 (mm) | ø1.0 以上 | ø1.6 以上 | ø2.0 以上 | ø2.6 以上 |
|---|---|---|---|---|
| 最大接続距離 (m) | 30 | 80 | 120 | 210 |

**注意**

本機の電源定格は、AC24 V 50 Hz/60 Hz です。正しい電圧でお使いください。
AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものをお使いください。
定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口に連絡してください。
定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにご相談窓口に連絡して点検（有償）を受けてください。

■ ケーブルの種類

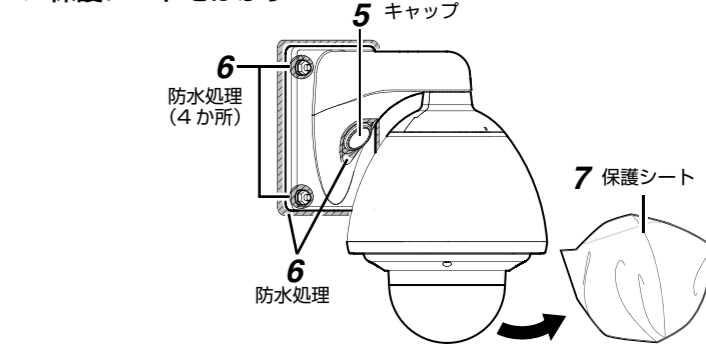
| 種類 | 色 | | 信号名 |
|---|---|---|---|
| アラームケーブル | 黒（シールドケーブル） | 茶 | アラーム入力1 |
| | | 赤 | アラーム入力1（COM） |
| | | オレンジ | アラーム入力2 |
| | | 黄 | アラーム入力2（COM） |
| | | 緑 | アラーム出力1 |
| | | 青 | アラーム出力1（COM） |
| | | 紫 | アラーム出力2 |
| | | 灰色 | アラーム出力2（COM） |
| オーディオケーブル | 白（シールドケーブル） | 白 | マイク入力 |
| | | 黒 | GND |
| | ライトグリーン（シールドケーブル） | ライトグリーン | ライン出力 |
| | | 黒 | GND |
| 電源ケーブル | 赤（非シールドケーブル） | | AC24V 電源 |
| | 黒（非シールドケーブル） | | |

ご注意：
- 使用しないケーブル類も、防水テープ（融着）などで、確実に防水処理を行なってください。

**5** キャップを取り付ける

**6** ケーブル結線用の穴、カメラ本体の取付面の周り、アンカーボルト締結部周辺（4 か所）を防水シール材（GE シリコン）でふさぐ

**7** 保護シートをはがす

ご注意：
- 防水処理は確実に行なってください。

裏面へつづく

## IP アドレスの設定

本書は、Windows XP を基本に記述しています。

### IP アドレスの設定手順

カメラの IP アドレスを下記手順で設定します。

**Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定**

| 設定用パソコンの IP アドレスを設定します。 |
|---|

▼

**Step2 Internet Explorer の設定**

| 設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。 |
|---|

▼

**Step3 カメラとパソコンの接続**

| 設定用パソコンとカメラを接続します。 |
|---|

▼

**Step4 カメラの IP アドレスを設定**

| [ 基本設定 1] 画面の [IP 設定 ] 項目を、“ 固定 IP” または、“DHCP” に設定します。 |
|---|

### Step 1 設定用パソコンの IP アドレス設定

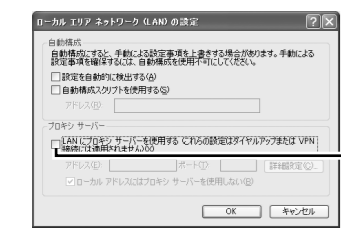
工場出荷時のカメラは “ 固定 IP”（DHCP クライアント機能がオフ）になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。設定用パソコンの IP アドレスを下記と通信できるように設定してください。（例えば IP アドレスを 192.168.0.100、サブネットマスクを 255.255.255.0）

IP アドレス　　　　　：192.168.0.2
サブネットマスク　　　：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：なし

### Step2 Internet Explorer の設定

**1** パソコンで Internet Explorer を起動する

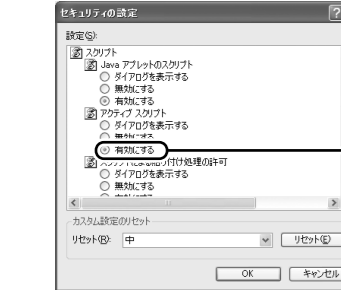
**2** Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

- [ツール]–[インターネットオプション]–[接続]–[LAN の設定]の順に選択し、[ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定 ] ウィンドウの [ プロキシサーバー ] 内 [LAN にプロキシサーバーを使用する ] のチェックマークをはずします。

チェックマークをはずす

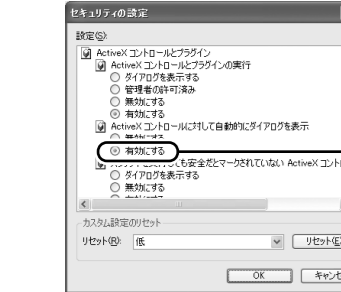
**3** **Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする**

- まず [ ツール ]–[ インターネットオプション ]–[ セキュリティ ] で、[ 信頼済みサイト ] を選択します。その後、直下の [ 信頼済みサイト ［サイト ...］] が選択できるようになり、それをクリックし表示されるウィンドウで、[ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする ] のチェックマークをはずし、カメラの URL をゾーンに追加します。カメラが工場出荷時の設定のときは、次の URL をゾーンに追加します。

  **http://192.168.0.2**

- 次に [ ツール ]–[ インターネットオプション ]–[ セキュリティ ] で [ 信頼済みサイト ] を選択し、[ レベルのカスタマイズ ] をクリックします。
  開いた [ セキュリティの設定 ] ウィンドウから [ スクリプト ]–[ アクティブスクリプト ] の [ 有効にする ] を選択します。

[ 有効にする ] を選択

**4** Internet ExplorerでActive Xコントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- [ ツール ]-[ インターネットオプション ]-[ セキュリティ ] で、[ 信頼済みサイト ] をクリックします。[ レベルのカスタマイズ ] を選択し、[ セキュリティの設定 ] ウィンドウを開きます。開いたウィンドウから [Active X コントロールとプラグイン ] の全項目を [ 有効にする ] にします。また、[ その他 ] にある [ サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する ] を有効にします。

[ 有効にする ] を選択

**5** ポップアップブロックを無効にする

Internet Explorer でポップアップブロックが “ 有効 ” になっていると、カメラを接続することができません。その場合には下記手順で、ポップアップブロックを “ 無効 ” にしてください。

- [ツール] – [ポップアップブロック] – [ポップアップブロックを無効にする]を選択すれば、すべてのサイトが許可されます。
- 本機などの特定のサイトだけ許可したい場合には [ ツール ]-[ ポップアップブロック ]-[ ポップアップブロックを有効にする ] を選択し、その後、選択可能になる [ ツール ]-[ ポップアップブロック ]-[ ポップアップブロックの設定 ] を選択し、[ ポップアップブロックの設定 ] ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。

**6** ツールプラグインを Internet Explorer に入れている場合、ツールプラグインのポップアップブロック機能も無効にする

### Step3 パソコンとカメラの接続

**1** Internet Explorer を起動する

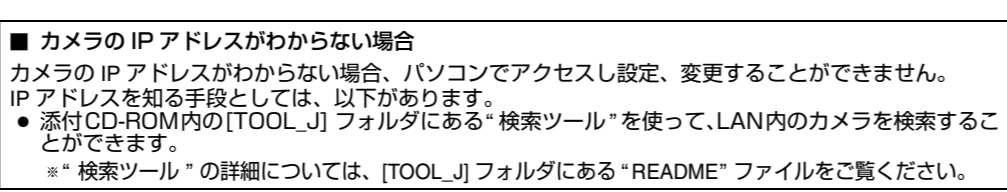
①IP アドレス [http://192.168.0.2]（例：工場出荷時）を入力します。
②[ 移動 ] をクリックします。

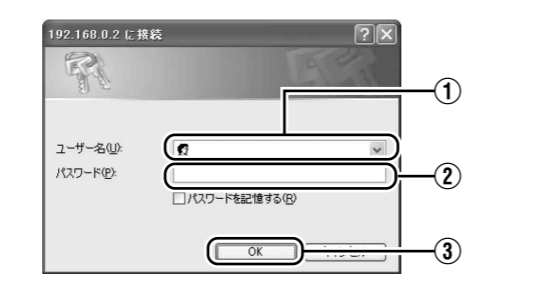
メモ：
- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行なってください。
- 統合ビューワーを経由しないで [ 基本設定 1] ページを開く場合は Internet Explorer のアドレス欄に [ 基本設定 1] ページの URL を入力します。

  http://192.168.0.2/cgi-bin/v686display.cgi?v686basicmenu1.html

- [ セキュリティ警告 ] 画面が表示されたら [ はい ] をクリックし、先に進んでください。

■ カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスし設定、変更することができません。
IP アドレスを知る手段としては、以下があります。
- 添付CD-ROM内の[TOOL_J] フォルダにある“ 検索ツール ”を使って、LAN内のカメラを検索することができます。
  ※“ 検索ツール ” の詳細については、[TOOL_J] フォルダにある “README” ファイルをご覧ください。

**2** ユーザー名、パスワードを入力する（管理者権限でログインします）

①ユーザー名を入力します。（工場出荷時は “admin”）
②パスワードを入力します。（工場出荷時は “jvc”）
③クリックします。

メモ：
- [ セキュリティ情報 ] 画面が表示されたら、[ はい ] をクリックして先へ進んでください。

**3** カメラの統合ビューワーが表示され、オペレーターパスワード入力画面が表示される

①オペレータのパスワード（工場出荷時は “jvc”）を入力します。
②クリックします。

### Step4 カメラの IP アドレスを設定

**1** 統合ビューワーの [ 詳細設定 ] をクリックする

クリック

**2** [ 基本設定 1] ページが表示される

①[IP 設定 ] 項目を設定します。

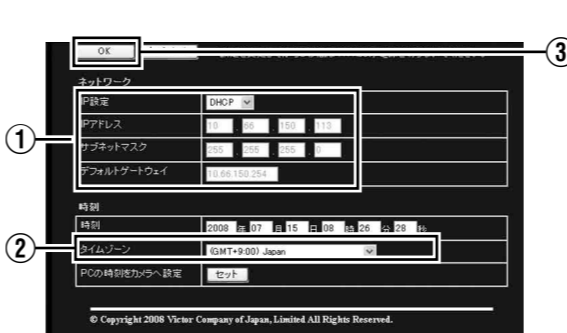
■ “ 固定 IP” に設定する場合：

[IP 設定 ] 項目を “ 固定 IP” にし、[IP アドレス ]、[ サブネットマスク ]、[ デフォルトゲートウェイ ] の欄に設定したい値を入力します。

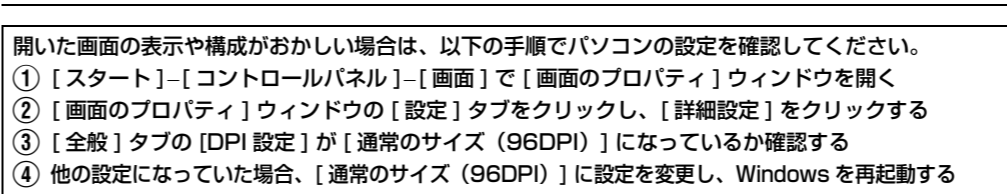
■ “DHCP” に設定する場合：

工場出荷時は “ 固定 IP”（DHCP クライアント機能がオフ）になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの [IP 設定 ] 項目を “DHCP” に設定し、[OK] をクリックしてください。
カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

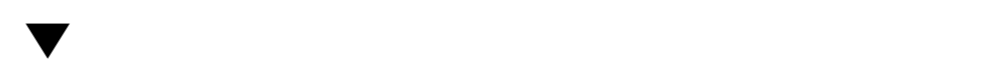
ご注意：
- DHCP サーバーからカメラの MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行なってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

②[ タイムゾーン ] を選択します。
③クリックします。

**3** 確認の画面が表示されたら [OK] をクリックする

- 本機は新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 1 分かかります。

メモ：
- カメラの IP アドレスが変更されたため、このパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

**開いた画面の表示や構成がおかしい場合は、以下の手順でパソコンの設定を確認してください。**
**① [ スタート ]–[ コントロールパネル ]–[ 画面 ] で [ 画面のプロパティ ] ウィンドウを開く**
**② [ 画面のプロパティ ] ウィンドウの [ 設定 ] タブをクリックし、[ 詳細設定 ] をクリックする**
**③ [ 全般 ] タブの [DPI 設定 ] が [ 通常のサイズ（96DPI）] になっているか確認する**
**④ 他の設定になっていた場合、[ 通常のサイズ（96DPI）] に設定を変更し、Windows を再起動する**

## Internet Explorer を使った設定

Internet Explorer で画質設定、アラーム設定などを行います。
※ 詳細は、付属の CD-ROM 内の「取扱説明書（設定編）」（pdf）をご覧ください。

## 統合ビューワーの操作

統合ビューワーで、JPEG 画像または MPEG4 画像のモニタリング、PTZ 操作、およびプリセットポジションの登録などを行うことができます。
統合ビューワーを使用するには、Internet Explorer で ActiveX コントロールとプラグインを有効にする必要があります。
※ 詳細は、付属の CD-ROM 内の「取扱説明書（設定編）」（pdf）をご覧ください。

## 保証とアフターサービス

### 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買いあげ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

### 保証期間について

保証期間は、お買いあげ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買いあげ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買いあげ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

### 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

| 部品名 | 備　考 |
|---|---|
| ズームレンズ組み立て<br>スリップリング<br>冷却ファン× 2<br>ヒーター用リレー | 消耗部品 |

**● 消耗部品の寿命のめやす**

- ズームレンズ組み立て
  ズーム動作 ........ 約 200 万動作
  フォーカス動作 ........ 約 400 万動作
- スリップリング ........ 約 500 万動作
- 冷却ファン× 2 ........ 約 5 万時間
- ヒーター用リレー ........ 約 10 万回

### アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買いあげ販売店、または別紙のご相談窓口案内をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

### 修理を依頼されるときは

お買いあげ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知らせください。

品名　　　　：ネットワークコンビネーションカメラ（屋外ドーム型）
品番　　　　：VN-V686WPB/VN-V686WPC
お買いあげ日：
故障の状況　：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所　　　：
お名前　　　：
電話番号　　：

### 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

## 仕様

**VN-V686WPB**

電源電圧　　　　：AC24 V 50 Hz/60 Hz または PoE（DC - 48 V）
消費電流 / 電力　：AC24 V 2.2 A、PoE 12.95 W
質量　　　　　　：約 5.5 kg
外形寸法　　　　：幅 260 mm ×高さ 385 mm ×奥行き 350 mm

**VN-V686WPC**

電源電圧　　　　：AC24 V 50 Hz/60 Hz
消費電流　　　　：AC24 V 2.8 A
質量　　　　　　：約 5.8 kg
外形寸法　　　　：幅 260 mm ×高さ 445 mm ×奥行き 350 mm

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。


お客様ご相談センター
0120－2828－17
携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/
日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町 3-12
電話(045)443-3151




LST0907-001B